
令和2年度日本歯科医師会
スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム
(SCR P) の手引き
【改訂版】

募集期間：2020年4月1日（水）～2020年7月20日（月）

<審査方法：2次審査方式>

第1次審査用資料締切日：2020年8月26日（水）
第1次審査結果発表予定日：2020年9月15日（火）
第2次審査開催予定日：2020年10月4日（日）
第2次審査結果発表予定日：2020年10月5日（月）

目 次

1	定義/日本代表選抜方法/参加資格/参加方法	3
2	規則	4
3	発表ガイドライン	5
4	大学の責務/ファカルティー・アドバイザーの責務/優勝校の責務	6
5	審査/審査基準	6
6	表彰	7
7	SCR P小冊子	8
8	本会ウェブサイトへの掲載	8
9	見学者への公開・審査結果発表後の懇親会	8
10	スチューデント クリニシャン・SCADA（同窓会）との交流機会	9
11	提出書類等	9
12	日本大会ご参加に際しての注意事項とお願い	10
13	添付書類一覧	
	【書式1】 参加申込書(大学用)	11
	【書式2】 大学代表通知書	12
	【書式3】 審査用事前抄録送付状	13
	【書式4】 発表ビデオ・発表スライド送付状	20
	【書式5】 SCR P小冊子印刷用発表内容の要旨および本人の顔写真データ送付状	21
	【書式6】 承諾確認書	23
	【書式7】 共同研究者: SCR P小冊子への氏名掲載申請書	24
	【書式8】 SCR P小冊子への研究指導関係者氏名掲載申請書	25
	【別紙1】 採点用紙（見本）	26
	【別紙2】 日本大会ご参加に際しての注意事項	28
	【別紙3】 第1次審査プレゼンテーションガイド	29
	【別紙4】 第2次審査プレゼンテーションガイド	32

1 定義/日本代表選抜方法/参加資格/参加方法

1.1 定義

スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（以下、「SCR P」という）は、歯科医師/歯学研究者の生涯教育に関連し、国際歯科研究学会米国部会（以下、「AAD R」という）・歯科医師会等による主催、デンツプライシロナ インク後援（米国本社）で行われている、歯科学生によるグローバルな研究発表大会である。現在では約20か国における開催を通じ、歯科学生のリサーチマインドの育成/研究意欲の向上と、AAD R主催学術大会への参加による歯科学生の国際交流の促進を図ることを目指している。日本においては、日本歯科医師会（以下、「本会」という）主催による日本代表選抜大会（以下、「日本大会」という）において、日本代表1名を選抜する。

1.2 日本代表選抜方法

本年度の日本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の大会開催形式を大幅に変更する。審査は2次審査方式とする。

- a. 第1次審査は**事前抄録・発表ビデオ・発表スライド（PDF）**により行ない、第2次審査に進む4名を選考する。発表ビデオで使用する発表スライドについては、データとフリップボードのいずれかを選択すること（別紙3、4参照）。第1次審査結果は9月15日（火）に本会ホームページ上でスチューデント・クリニシャン番号のみを速報し、追ってEメールで該当校に通知する。
- b. 第2次審査は10月4日（日）に本会役員・国際渉外委員会立ち合いの下でウェブ会議システムを用いた**オンライン発表による審査ならびに質疑応答**により行なう。上位入賞は優勝/日本代表・準優勝・臨床部門第2位・基礎部門第2位の4名とし、大会翌日午後以降に本会ホームページ上で大学名・スチューデント クリニシャン名・研究テーマを発表し、その後Eメールで該当校に通知する。
- c. 優勝者/日本代表は、AAD R主催学術大会における発表の際、指定された方法で発表を行なうものとする。

＊ 本年度日本大会においては、上記選抜方法により、スチューデント・クリニシャンは本会（市ヶ谷）に来館する必要はないものとする。

1.3 参加資格

- a. スチューデント・クリニシャンは、所属大学における選考会ないし書類選考にて、「各大学の代表学生」として選抜されなければならない。
- b. 過去にスチューデント・クリニシャンを務めた学生は、参加資格を有さないものとする。
- c. スチューデント・クリニシャン並びに共同研究者は、日本大会で発表する時点で“歯学部歯学科学生”でなければならない。
- d. 日本大会でプレゼンテーションを行なう学生は、スチューデント・クリニシャン（各校1名）に限られる。
- e. スチューデント・クリニシャンは、SCR Pの世界的同窓会（SCADA）へ自動入会となり、国内外を含めた会員との交流機会をもつことが可

能となる。また、共同研究者も希望する場合は所定の手続きを経ることにより、入会可能である。SCADAについては、「10 スチューデント クリニシャン・SCADA（同窓会）との交流機会」を参照のこと。

1.4 参加方法

- a. 日本大会への参加募集の手引きは、本会より各校の学長/学部長宛に送付する。学長/学部長は、自校に参加の意思がある場合、本会宛に「参加申込書（大学用）」（書式1）をもって登録を7月20日（月）までに行なう。その際、ファカルティー・アドバイザー1名（アドバイザーとなる教員）を指名する。参加登録完了以降はファカルティー・アドバイザーが連絡先となるが、スチューデント・クリニシャン決定後は本人に連絡することもある。なお、すでに5月20日（水）までに登録を行っている大学については再度の書類提出は必要ない。
- b. 「参加申込書（大学用）」（書式1）にて、希望審査区分を臨床系（公衆衛生を含む）もしくは基礎系のいずれかを選択の上申請する。なお、参加登録後の変更希望は認められない。但し、審査員会の判断により審査区分を変更する場合がある。その際には、該当校に通知する。
- c. 「大学代表通知書」（書式2）にて、スチューデント・クリニシャン名、研究テーマ等は7月20日（月）までに登録を行なう。

2 規則

- a. 7月の大学代表登録の締切後、スチューデント・クリニシャンの交代は認められない。
- b. 発表の要旨は研究テーマを含め、7月20日（月）締切提出以後は変更できない。「大学代表通知書」（書式2）に記載した研究テーマ（和文・英文ともに）をすべての書類および発表スライドで統一して用いること。
- c. **発表内容はオリジナル(本年度日本大会以前に学会・誌上発表、受賞経験等はない)とする。**
- d. 審査用事前抄録・SCR P小冊子に掲載する発表の要旨本文・発表ビデオ・発表スライドには：
 - －氏名、大学名および大学を暗示する所在地・地域名等の記載をしないこと。
 - －何らかの商業宣伝や広告的効果のある表現を厳に避ける。但し、通常の学会発表と同様、使用した器材・製品に言及する場合は、メーカー名を明示すること。
 - －参考文献は記載しないこと。
- e. ヒトを対象とする研究は、研究対象者あるいは患者から関連試料使用の許可を得ていること、および各大学の倫理委員会もしくはそれに準ずる大学組織機関において承認を受けていることを①大学代表通知(書式2)、②事前抄録(書式3)、③発表ビデオ・発表スライド④SCR P小冊子(和文要旨)(書式5)に明記すること。また、動物を対象とする場合には、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていることを同様に明記すること。なお、上記に該当しない場合は「大学代表通知書」(書式2)の「無該当」のチェックボックスにチェックを入れること。
- f. 提出物については、別添承諾確認書(書式6)により承諾手続きを行なう。

- g. 8月26日（水）締切の提出物は、以後変更・差替を不可とする。
- h. スチューデント・クリニシャン本人による発表は英語とし、5～7分を越えないこと。
- i. 発表は第1次・第2次審査ともに発表スライド以外の説明材料・説明資料等を使用してはならない。
- j. 第2次審査で使用する発表スライドは誤字脱字を除き、第1次審査の内容の変更は認めないものとする。
- k. 第2次審査はオンライン審査となるため、対象のスチューデント・クリニシャンは通信状況が安定している環境（LANケーブル使用）で審査に臨むこと。第2次審査前に本会事務局と通信環境の確認を行なう。詳細は事務局から連絡する。

* 上記規則のいずれかに違反が認められた場合、その代表学生は自動的にスチューデント・クリニシャンとしての参加資格を失う。

3 発表ガイドライン

3.1 スチューデント・クリニシャン番号

参加登録締切後、Eメールでスチューデント・クリニシャン番号を教務課/学生課に通知する。

発表スライド表紙に「SC No. 」として表示すること。

3.2 スライドプレゼンテーションフォーマット

スライドプレゼンテーションフォーマットは、下記の要素を含めること。

- タイトル (Title)
- 問題点 (Problem)
- 仮説 (Hypothesis)
- 方法 (Methods)
- 結果 (Results)
- 結論 (Conclusion)

* ヒトもしくは動物を対象とする場合、倫理上の学内承認手続き完了の表示
<以下の和文に相当する英文表記>

倫理規定等 ☐ 本学の研究倫理規定関連委員会の承認を得ました。

3.3 上記以外の詳細は、別添プレゼンテーションガイドを参照すること。

4 大学の責務/ファカルティー・アドバイザーの責務/優勝校の責務

4.1 大学の責務

日本大会への参加意思のある大学は参加申込書に記入し、公印済の申込書を募集期間内に本会宛に送付しなければならない。その際、ファカルティー・アドバイザー（スチューデント・クリニシヤンの所属する歯科大学/歯学部教員に限る）1名を指名することが必要である。（書式1）

なお、7月時点で登録されたファカルティー・アドバイザーを変更することは原則的に認められない。但し、研究指導上の理由により、8月26日（水）締切時点で補充したい旨の希望がある場合には、1名に限りSCR P小冊子：ファカルティー・アドバイザー欄での紹介は可能である。（書式8）

4.2 ファカルティー・アドバイザーの責務

学長/学部長によりファカルティー・アドバイザーに任命された教員は：

- a. 大会規則に沿うものとなるよう指導しなければならない。
- b. 日本大会並びにAADR主催学術大会への参加に際し、滞りなく完了するよう本会に協力する。

4.3 優勝校の責務

- a. 優勝カップの保管期間は、日本大会終了から翌年度同大会開催日の約1ヶ半月前までとし、優勝校は本会宛に返還（着払い）を要する。優勝カップの返還後、優勝カップのレプリカを贈呈する。
- b. 発表内容について必要に応じて審査員長他からのアドバイスを受け、AADR主催学術大会における発表形式に沿って対応する。
- c. 優勝者はAADR主催学術大会へ出張後、本会への帰朝報告・執筆・翌年度日本大会に関連する協力等を求められた際に、可能な範囲で応ずる。
- d. 本年度優勝校のファカルティー・アドバイザーは、日本代表派遣後、次年度優勝校の派遣に際し、必要に応じて留意点等の情報提供に協力する。

5 審査/審査基準

5.1 審査

スチューデント・クリニシヤンの大学名・氏名は、参加申込段階から審査終了まで一切公表せず、全てスチューデント・クリニシヤン番号で統一される。

審査は2次審査方式で行なう。

<第1次審査>

審査員はスチューデント・クリニシヤンの事前抄録・発表ビデオ¹⁾・発表スライド²⁾を基に行なわれ、第2次審査に進む4名を選考する。

選考結果は、9月15日（火）に本会ホームページで発表後、該当校の教務課/学生課にEメールで通知する。

（注）¹⁾²⁾は別紙3、4参照）

＜第2次審査＞

審査員は選抜された4名と順次オンライン（ウェブ会議システム）によるライブプレゼンテーション（5分～7分）を行ない、その後に15～20分程度の質疑応答を行なう。ライブプレゼンテーションは英語で行なう。その後審査員の質問は基本的には英語によるが、日本語で行なう場合もある。質問に対する回答は、英語を用いての発表能力を判定するため、英語とする。

審査員は、一通りの審査が終了した時点で互いの疑問点あるいは意見を交換した後、その中から優勝・準優勝・臨床部門（公衆衛生を含む）第2位・基礎部門第2位を決定する。但し、上位入賞者に該当の者がいない場合はこの限りではない。

5.2 審査基準

審査の基準に関しては、審査員が使用する採点用紙の見本（別紙1）を添付するので、発表時の参考にされたい。

6 表彰

- a. 上位入賞者は臨床系第1位・臨床系第2位、基礎系第1位・基礎系第2位の4名とし、日本大会の審査結果は本会ホームページ上で、大学名・スチューデント クリニシャン名・研究テーマを発表する。臨床系第1位もしくは基礎系第1位のいずれかを優勝並びに日本代表として選抜する。
準優勝（臨床系もしくは基礎系の第1位）には賞金5万円、臨床系および基礎系の第2位（2名）には賞金3万円が贈られる。
但し、上位入賞者に該当の者がいない場合はこの限りではない。
- b. 優勝校のファカルティー・アドバイザーには、表彰楯が贈られる。
- c. 本年度優勝者は、副賞として、2021年7月に予定されているAADR主催学術大会（米国・ボストン）において日本代表として派遣され、それに伴う航空券・宿泊費・雑費等が贈られる。尚、
 - 1) 優勝者の都合により発表・参加を辞退する場合、賞金5万円を授与し、次年度以降のSCR P大会小冊子において優勝者として記載することにより、その名誉を維持する。
 - 2) 上記1)を受け、準優勝者が発表可能な場合、日本代表として派遣する。
尚、賞金5万円は派遣が決定した時点で返還する。
 - 3) 日本代表に選抜された後、AADR事務局に指定アブストラクトの提出が義務づけられている。同学術大会への派遣は、AADR事務局によりアブストラクトが正式に受理された場合にのみ実施する。
 - 4) 優勝者・準優勝者ともに参加できない場合、その他やむを得ないケースにおいては、本会の判断により派遣を取りやめることもある。
尚、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、AADR主催学術大会の開催延期・中止、日米間の出入国制限措置及び現地入国後の行動制限措置・参加校の海外出張禁止措置等に基づき、現地への派遣が困難となることも予想される。また各国代表による発表はビデオとなる、もしくはその機会も設けられない可能性もある為、ご理解と臨機応変な対応にご協力を賜りたい。
- d. 優勝校には、優勝校持ち回りの優勝カップを贈呈する。約1年間保管後に

- 返還する。返還後、優勝カップのレプリカを贈呈する。
- e. スチューデント・クリニシャン全員に、大学代表として発表に至るまでの多大なる努力を称え、「入賞」表彰状並びに記念品が授与される。
 - f. すべての参加校に記念品が贈呈される。

7 S C R P小冊子

7.1 S C R P小冊子への記載

S C R P小冊子（発表の要旨）に：

- a. 学長名もしくは学部長名を掲載する。
- b. 共同研究者名の掲載を希望する場合、「共同研究者：S C R P小冊子への氏名掲載申請書」にて申し込むこと。（書式7）
- c. ファカルティー・アドバイザー名（1名）を掲載する。なお、7月時点でファカルティー・アドバイザー一覧に指導教員（1名）の追加掲載を希望する場合、「S C R P小冊子への研究指導関係者氏名掲載申請書」にて申し込むこと。（書式8）
- d. ファカルティー・アドバイザー以外に、研究指導協力者（各校3名以内）の掲載を希望する場合、スチューデント・クリニシャンの所属する大学に在籍する教員に限る。「S C R P小冊子への研究指導関係者氏名掲載申請書」にて申し込むこと。（書式8）

7.2 S C R P小冊子の配布

大会終了後にS C R P小冊子を参加校並びに不参加校に配布する。

8 本会ウェブサイトへの掲載

- a. 第1次審査結果について、スチューデント・クリニシャン番号を掲載する。
- b. 第2次審査結果について、上位入賞者の大学名・氏名・研究テーマを掲載する。また、同時に全参加校の大学名・氏名・研究テーマも掲載する。
- c. 本大会では、審査結果発表後の懇親会にて例年行っている優勝者によるプレゼンテーションの機会を設けられないため、優勝者のプレゼンテーションのビデオ動画を掲載することもある。その場合、事前に該当校に連絡する。
- d. 発表の要旨ならびに事前抄録についても本会ホームページ上で公開の予定である。

9 見学者への公開・審査結果発表後の懇親会

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科医師会館で本大会を開催しない為、見学者への公開は行なわないこととする。

10 スチューデント クリニシャン・SCADA（同窓会）との交流機会

本年度スチューデント・クリニシャンならびに共同研究者は来館しない為交流機会を得ることはできないが、日本大会後にSCADA（同窓会）会員として国内外のスチューデント・クリニシャンならびに経験者との交流が可能となる。

活動状況ならびに入会手続き等に関しては、大会終了後、SCADA Associates in Japan（通称：SCADA-Japan）によるオリエンテーションを予定している。開催の詳細については後日連絡する。

尚、スチューデント・クリニシャンは自動入会となり、会員証（Certificate）の発行および送付等の都合により、本会からSCADA-Japan代表宛にスチューデント・クリニシャンのEメールアドレスを連絡することになる点をご了承いただきたい。

11 提出書類等

11.1 提出書類等と締切日

○参加申込書（大学用）（書式1）

○大学代表通知書（書式2）

▶ 締切日：2020年7月20日（月）

○審査用事前抄録送付状（書式3）

和文および英文の審査用事前抄録、A4各2ページ以内 提出部数：1部

○発表ビデオ・発表スライド送付状（書式4）

※発表スライドPDFは、1スライドを1ページとしてご提出ください。

尚、印刷上画質に不具合がある場合は再度ご提供をお願いすることもありますので、ご了承ください。

○SCR P小冊子印刷用発表内容の要旨および本人の顔写真データ送付状（書式5）

①発表内容の要旨（和文および英文）

②本人の顔写真データ

※無地の背景で撮影した高画質（1MB以上）な画像写真であること。公式な大会への参加にふさわしい服装とする。データのファイル名は大学名・氏名とする。

○事前抄録・SCR P小冊子印刷用発表内容の要旨・顔写真データ・発表スライド他掲載承諾確認書（書式6）

○共同研究者：SCR P小冊子への氏名掲載申請書（書式7）

○SCR P小冊子への研究指導関係者氏名掲載申請書（書式8）

▶ 締切日：2020年8月26日（水）

11.2 書類提出先/問い合わせ先

①書類提出先

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

公益社団法人 日本歯科医師会 事業部学術課・日本歯科医学会事務局

SCR P担当者 宛

Tel : 03(3262)9212 Fax : 03(3262)9885

②SCADA Associates in Japanに関する問い合わせ先

Email: president@scada-japan.org

11.3 提出書類等の取り扱い

提出書類・発表ビデオ・発表スライドに関しては、日本大会以外の目的では使用されない。

12 日本大会ご参加に際しての注意事項とお願い

本大会に参加するにあたり、手引きを充分にご参照の上、特に「日本大会へのご参加に際しての注意事項」（別紙2）に留意していただきたい。

本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響による変更・中止等を余儀なくされることもある為、今後の状況に応じてご理解・ご協力を賜りたい。

以上

参加申込書（大学用）

参加大学は応募の際、この参加申込書を用い、参加意思を表明すること。

(締切日：2020年7月20日)

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度日本歯科医師会
 スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP)
 参加申込書

本年度、本学はスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラムの主旨に賛同し、
 SCRPN日本代表選抜大会に参加しますので、ここに申し込みをいたします。

大学名（学部名）	(和文)
	(英文)
代表者名 (学長／学部長)	(和文) * 公印を必ず押印すること 印*
	(英文)
ファカルティー・アドバイザー	氏 名 (和文)
	(英文)
	講座名 (和文) 役職名 (和文) TEL: Email:
教務課/学生課	氏名: TEL: Email:
住 所	(和文)〒
審査希望	☐ 1.臨床系（公衆衛生を含む） ☐ 2.基礎系
夏休み期間（学生）	月 日 ～ 月 日

大学代表通知書

参加大学は大学代表が決まり次第、この大学代表通知書を送付すること。

(締切日：2020年7月20日)

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度日本歯科医師会
 スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP)
 大学代表通知書

本年度、本学からは、下記の者を大学代表/スチューデント・クリニシャンとして
 選出し、SCRP日本代表選抜大会に参加させますので、通知します。

記

大学名 (学部名)	(和文)
	(英文)
代表者名 (学長／学部長)	(和文) 印* *公印を必ず押印すること
	(英文)
スチューデント・ クリニシャン名	(和文) <楷書体による自署>
	(英文)
(英文名の綴りは、必ずご本人にご確認下さい。)	
連絡先	TEL: Email:
学 年	年生 歳
研究テーマ	(和文)
	(英文)
☐ 本年度日本大会以前 に、学会・誌上発表、 受賞経験はありません。	
研究倫理規定等	☐ 本学の研究倫理規定関連委員会の承認を得ました。 ☐ 無該当

審査用事前抄録 送付状

スチューデント・クリニシャンはポスタープレゼンテーションの概要を説明した審査用事前抄録（A4判和文／英文各2ページ以内）のハードコピー1部とCD-ROM（Windows対応）1枚を送付すること。（締切日：2020年8月26日）

審査用事前抄録には大学名・氏名その他それを暗示するいかなる表示もしてはならない。また、何らかの商業宣伝や広告的效果のある表現は、厳にこれを禁ずる。

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度日本歯科医師会
スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（SCR P）
審査用事前抄録 送付状

本年度SCR P日本代表選抜大会に参加するにあたり、審査用事前抄録（プレゼンテーションの概要-和文／英文）をここに送付します。

☐ 添付の審査用事前抄録は、下記の規則に違反していないことを確認いたしました。

- c. 発表内容はオリジナル（本年度日本大会以前に学会・誌上発表、受賞経験のないもの）とする。
- d. 審査用事前抄録・SCR P小冊子に掲載する発表の要旨本文・発表ビデオ・発表スライドには、大学名および大学を暗示する所在地・地域名等の記載をしないこと。何らかの商業宣伝や広告的效果のある表現を厳に避ける。但し、通常の学会発表と同様、使用した器材・製品に言及する場合は、メーカー名を明示すること。
- e. ヒトを対象とする研究は、研究対象者あるいは患者から関連試料使用の許可を得ていること、および各大学の倫理委員会もしくはそれに準ずる大学組織機関において承認を受けていることを①大学代表通知（書式2）、②事前抄録（書式3）、③発表ビデオ・発表スライド④SCR P小冊子（和文要旨）（書式5）に明記すること。また、動物を対象とする場合には、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていることを同様に明記すること。

送付者	
大学名（学部名）	
スチューデント・クリニシャン名	
学 年	年生

希望審査区分 ☐ 臨床 (公衆衛生を含む) ☐ 基礎

***審査員会の判断より変更となる場合もある。**

発表準備 (採点には含まれない)

☐ 自分ですべて準備した ☐ 他人の助力を得た (自分の関与度 65 %)

***研究テーマ/問題点/仮説/方法/結果/結論を必ず記載すること**

研究テーマ

1 行あける (*大学名・氏名は記載してはならない。)

(問題点-Problem)

(仮説-Hypothesis)

(方法-Methods)

(結果-Results)

(結論-Conclusion)

注意点

1. 図表を含めて和文・英文共に A4 版 2 ページ以内 (枠内) に簡潔に記述してください。
2. 研究テーマ: 和文 12P MS ゴシック / 英文 12P Times New Roman を使用しボールドしてください。
3. 本文: 和文 10.5P MS 明朝活字 / 英文 10.5P Times New Roman を使用してください。
4. 本文の書き方は、和文/英文共に、下記をご参照ください。
(問題点) 何が明らかにされていないのか・どのような (仮説) を立てたのか・その仮説を証明する
(方法) を述べ、(結果) に対する考察を加えながら、(結論) を導き出す。
5. 結果を示す図表をできるだけ入れてください。
6. 参考文献は記載しないでください。

本行から記述してください。

希望審査区分 ☐ 臨床（公衆衛生を含む） ☐ 基礎

***審査員会の判断により変更となる場合もある。**

発表準備（採点には含まれない）

☐ 自分ですべて準備した ☐ 他人の助力を得た（自分の関与度 %）

***研究テーマ/問題点/仮説/方法/結果/結論を必ず記載すること**

発表ビデオ・発表スライド送付状

スチューデント・クリニシャンは、発表ビデオと発表スライドを送付すること。
(締切日：2020年8月26日)

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度日本歯科医師会
スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCR P)
発表ビデオ・発表スライド送付状

本年度のSCR P日本代表選抜大会参加にあたり、審査の対象となる資料を下記のとおり送付します。

記

1. 発表ビデオ（5分～7分）：DVD
2. 発表スライド（PDF、1スライド1ページ）：CD-ROM

□ 添付資料は、下記の規則に違反していないことを確認いたしました。

- c. 発表内容はオリジナル（本年度日本大会以前に学会・誌上発表、受賞経験のないもの）とする。
- d. 審査用事前抄録・SCR P小冊子に掲載する発表の要旨本文・発表ビデオ・発表スライドには、大学名および大学を暗示する所在地・地域名等の記載をしないこと。何らかの商業宣伝や広告的效果のある表現を厳に避ける。但し、通常の学会発表と同様、使用した器材・製品に言及する場合は、メーカー名を明示すること。
- e. ヒトを対象とする研究は、研究対象者あるいは患者から関連試料使用の許可を得ていること、および各大学の倫理委員会もしくはそれに準ずる大学組織機関において承認を受けていることを①大学代表通知(書式2)、②事前抄録(書式3)、③発表ビデオ・発表スライド④SCR P小冊子(和文要旨)(書式5)に明記すること。また、動物を対象とする場合には、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていることを同様に明記すること。

送付者	
大学名・学部名	
スチューデント・クリニシャン名	(漢字)
	(フリガナ) *必ずご本人にご確認ください。
学 年	年生

SCRП小冊子印刷用発表内容の要旨・本人の顔写真データ送付状

スチューデント・クリニシャンは、発表内容の要旨（和文及び英文）をA4判1枚以内にまとめ、本人の顔写真データ（1MB以上 P.9 11.1参照）と共にCD-ROM（Windows対応）1枚に収め、原本と共に送付すること。

（締切日：2020年8月26日）

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度日本歯科医師会 スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（SCRП） 発表内容の要旨・本人の顔写真データ・スライド送付状

本年度のSCRП日本代表選抜大会参加にあたり、小冊子印刷用原稿となる資料を下記のとおり送付します。

記

1. 発表内容の要旨（和文および英文）：CD-ROM
2. 本人の顔写真データ（1MB以上）：CD-ROM

□ 添付発表内容の要旨は、下記の規則に違反していないことを確認いたしました。

- c. 発表内容はオリジナル（本年度日本大会以前に学会・誌上发表、受賞経験のないもの）とする。
- d. 審査用事前抄録・SCRП小冊子に掲載する発表の要旨本文・発表ビデオ・発表スライドには、大学名および大学を暗示する所在地・地域名等の記載をしないこと。何らかの商業宣伝や広告的効果のある表現を厳に避ける。但し、通常の学会発表と同様、使用した器材・製品に言及する場合は、メーカー名を明示すること。
- e. ヒトを対象とする研究は、研究対象者あるいは患者から関連試料使用の許可を得ていること、および各大学の倫理委員会もしくはそれに準ずる大学組織機関において承認を受けていることを①大学代表通知（書式2）、②事前抄録（書式3）、③発表ビデオ・発表スライド④SCRП小冊子（和文要旨）（書式5）に明記すること。また、動物を対象とする場合には、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていることを同様に明記すること。

送付者	
大学名・学部名	
スチューデント・クリニシャン名	(漢字)
	(フリガナ) *必ずご本人にご確認ください。
学 年	年生

*和文（MSゴシック500字以内）・英文（Times New Roman 230ワード以内）両方を合せてA4判1枚にまとめること。

*英文のタイトルは、各単語の1文字目を大文字にすること。但し、冠詞・前置詞・接続詞を除く。（例：Effects of Melatonin.....）

[書式 5] 令和 2 年度 SCRP 日本代表選抜大会 発表内容の要旨（小冊子印刷用）和文/MS ゴシック 500 字 英文/Times New Roman
230 ワード以内 * 大学名・氏名・研究テーマを記入してください。 また、CD-ROM（Windows 対応）にてもご提出ください。

< 2 規則 e. >

ヒトを対象とする研究は、研究対象者あるいは患者から関連試料使用の許可を得ていること、および各大学の倫理委員会もしくはそれに準ずる大学組織機関において承認を受けていることを①大学代表通知(書式 2)、②事前抄録(書式 3)、③発表ビデオ・発表スライド④SCRP 小冊子(和文要旨)(書式 5)に明記すること。また、動物を対象とする場合には、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていることを同様に明記すること。

承諾確認書

事前抄録・発表の要旨・スチューデント クリニシヤンの顔写真・発表スライドの使用・転載、スチューデント クリニシヤンのEメールアドレスについて以下の依頼に回答すること。

(締切日：2020年8月26日)

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

1. 提出した事前抄録（和文・英文）・発表の要旨（和文・英文）・スチューデント クリニシヤンの顔写真・発表スライド等を、貴会の事業(SCRP 等)に関連した活動（印刷物・貴会ホームページへの掲載等）において使用することを：
☐承諾いたします
☐承諾できません
(理由)
2. SCADA Associates in Japan ホームページに SCRP 小冊子：和文抄録を転載することを：
☐承諾いたします
☐承諾できません
(理由)
3. SCADA (SCRP 同窓会) 入会手続きにあたり、スチューデント クリニシヤンの氏名・所属大学・Eメールアドレスを SCADA Associates in Japan 代表に通知することを承諾いたします。
☐承諾いたします
☐承諾できません
(理由)

以上

大学名： _____

スチューデント クリニシヤン名： _____
(自署)

【確認】

ファカルティー アドバイザー名： _____
(自署)

共同研究者:SCRП小冊子への氏名掲載申請書

共同研究者は歯学部歯学科学生に限られ、SCRП小冊子への氏名掲載申請をもって掲載を行う。共同研究者はいない場合も回答すること。

(締切日：2020年8月26日)

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度SCRП日本代表選抜大会への参加に際し、

☐ 共同研究者のSCRП小冊子氏名掲載を希望します。

学年	氏名 (漢字)	フリガナ	Mr/Ms	英文 (例: Takuya Abe)

* 5名を超える場合は、事前にご相談ください。

☐ 共同研究者はいません。

以上、よろしくお願いいたします。

大学名： _____

SCRP小冊子への研究指導関係者氏名掲載申請書

学長/学部長に加え、ファカルティー・アドバイザー（追加1名）ならびに研究指導協力者名（スチューデント・クリニシャンと同じ大学に在籍する大学院生以上で3名以内）をSCRP小冊子に掲載希望する場合、申請書を送付すること。

（締切日：2020年8月26日）

2020年 月 日

公益社団法人日本歯科医師会御中

令和2年度SCRP日本代表選抜大会への参加に際し、SCRP小冊子への氏名記載を希望します。

◆学長/歯学部長

役職名(学長/学部長)	氏名

◆ファカルティー・アドバイザー：本年8月時点で1名追加を希望する場合、新たな追加者名をご記入下さい。

講座名	役職名	氏名

◆研究指導協力者：3名以内 該当者がいない場合、「該当者なし」とご記入下さい。

講座名	役職名	氏名

大学名：_____

以上

日本歯科医師会スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)
第1次審査採点用紙 (見本)

発表形式は、スライドを用いたビデオプレゼンテーションである (5～7 分)。

SC NO. _____

研究テーマ: _____

主題: (満点 35 点)

	低い			高い	
① 時宜を得て、適切である	1	3	5	7	点
② 構成・論理・順序が的確である	1	3	5	7	点
③ 臨床との関連性がある	1	3	5	7	点
④ 科学的根拠に基づいている	1	3	5	7	点
⑤ 創造性に富む・新アプローチである	1	3	5	7	点

(小計: 点)

内容: (満点 42 点)

	低い			高い	
① 仮説を明確に述べている	1	3	5	7	点
② 背景に関する知識が備わっている	1	3	5	7	点
③ 方法が明確に述べられている	1	3	5	7	点
④ 結果が簡潔に示されている	1	3	5	7	点
⑤ 考察がデータと一貫している	1	3	5	7	点
⑥ 科学的データにより導き出されている	1	3	5	7	点

(小計: 点)

発表: (満点 28 点)

	低い			高い	
① 発表態度が学生らしい	1	3	5	7	点
② 内容の理解度が高い	1	3	5	7	点
③ 発表が簡潔で明瞭である	1	3	5	7	点
④ スライドの構成が卓越している	1	3	5	7	点

(小計: 点)

コメント: _____

審査員 _____
(署 名)

総合得点 _____
(最高得点=105 点)

日本歯科医師会スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)
第2次審査採点用紙 (見本)

発表形式は、スライドを用いたオンラインプレゼンテーションである。

(口頭発表 5～7 分、質疑応答 15 分～20 分)

SC NO. _____

研究テーマ: _____

主題: (満点 35 点)

	低い			高い	
① 時宜を得て、適切である	1	3	5	7	点
② 構成・論理・順序が的確である	1	3	5	7	点
③ 臨床との関連性がある	1	3	5	7	点
④ 科学的根拠に基づいている	1	3	5	7	点
⑤ 創造性に富む・新アプローチである	1	3	5	7	点

(小計: 点)

内容: (満点 42 点)

	低い			高い	
① 仮説を明確に述べている	1	3	5	7	点
② 背景に関する知識が備わっている	1	3	5	7	点
③ 方法が明確に述べられている	1	3	5	7	点
④ 結果が簡潔に示されている	1	3	5	7	点
⑤ 考察がデータと一貫している	1	3	5	7	点
⑥ 科学的データにより導き出されている	1	3	5	7	点

(小計: 点)

発表: (満点 44 点)

	低い					高い	
① 質疑応答態度が学生らしい	1	3	5	7	9	11	点
② 質疑応答での内容の理解度が高い	1	3	5	7	9	11	点
③ 質問に対する英語での回答力が優れている	1	3	5	7	9	11	点
④ スライドの構成が卓越している	1	3	5	7	9	11	点

(小計: 点)

コメント: _____

審査員 _____
 (署名)

総合得点 _____
 (最高得点=121 点)

SCRP日本大会へのご参加に際しての注意事項1. 大学公印

スチューデント・クリニシャンは公式の大学代表となりますので、提出書類の押印箇所には必ず公印をご使用下さい。

2. 参加登録時の留意点

7月の参加登録時点で、臨床系（公衆衛生を含む）と基礎系での審査希望を選択していただき、登録後の変更希望は認められない点にご注意下さい。

3. スチューデント・クリニシャンの参加資格

参加資格1.3 b.に沿って、過去にスチューデント・クリニシャンを務めた学生は対象外となりますので、ご注意ください。

4. 代表学生氏名

漢字・よみがな・英語表記(綴り)は、必ずご本人にご確認ください。

5. 発表内容

規則2.c.「発表内容はオリジナル(本年度日本大会以前に学会・誌上発表、受賞経験のないもの)とする。」に違反が認められた場合は、「失格」の対象となりますので、ご注意ください。

6. 審査方式変更に伴う提出物

今年度はポスター発表ではなく、①事前抄録②発表ビデオ③発表スライドを基に1次審査を実施し、2次審査に選考された4名のみがオンラインによるライブ発表を行ない、上位入賞を競うこととなりますので、締切日(原本必着)と提出物に不備のないようご協力ください。特に、大学名・氏名は一切伏せてください。表示されていた場合、失格になることもありますので、ご提出前に必ずご確認ください。

7. 商業的宣伝・広告的効果のある表現の禁止

規則2.d.「審査用事前抄録・SCRP小冊子に掲載する発表の要旨・発表スライドには、何らかの商業宣伝や広告的効果のある表現を厳に避ける。但し、通常の学会発表と同様、使用した器材・製品に言及する場合は、メーカー名を明示すること。」にご注意ください。

8. 発表の要旨

SCRP小冊子の印刷原稿となる発表の要旨は、原稿通り印刷されますので、不備のないよう入念にご確認ください。

9. プレゼンテーション

発表スライド以外の説明材料・説明資料等の使用は不可となりますので、ご注意ください。

※ 本年度大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により今後中止を余儀なくされることも想定されますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、ご不明な点やお気づきの点等は、（公社）日本歯科医師会 事業部 学術課・日本歯科医学会事務局SCRP担当者にお尋ねください。



第1次審査

- 審査員は①事前抄録②発表ビデオ③発表スライドを基に第1次審査を行ない、第2次審査に進む4名を選考。
- 第1次審査結果は本年9月15日（火）に本会ホームページにて発表する。また、該当校にEメールで通知する。

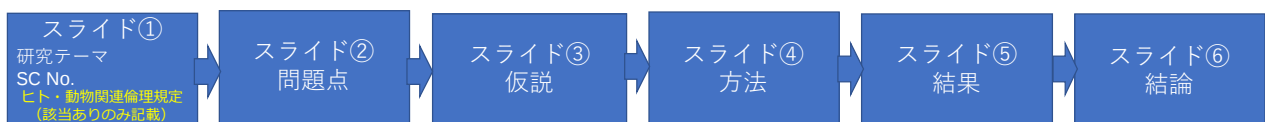
研究発表ビデオ

発表（収録）時間 － 5分～7分

スライド枚数 － 表紙を含め6枚

スライド

- ・ スライド枚数 － 表紙を含め6枚
- ・ フォント：Arial
- ・ ポスター発表を基本イメージとしている為、アニメーション機能は使用しないこと。



- ・ PDFは1スライドを1ページ（合計6ページ）をCD-ROMに収め提出すること

SC＝スチューデント・クリニシャン

SCによるビデオ発表・撮影イメージ (発表時間 5 分～ 7 分)

< SC >

I am Student Clinician, No.____.
Please let me start my research presentation.

- ・スライド①
- ・スライド②
- ・スライド③
- ・スライド④
- ・スライド⑤
- ・スライド⑥

Thank you very much.

- SCはリラックスして自然体で発表すればよい。
ビデオの編集は不要である。

<撮影イメージ>

SCはスライド(フリップボード)を
順番に説明する。



*写真は発表イメージです。

提出されたDVDの取扱い

- ・映像の不具合を除き、差替えは不可とする。
- ・審査員に提供する。
- ・本会ならびに審査員は、本大会以外の目的では使用しない。
- ・ビデオ発表DVDは、返却希望の場合対応する。

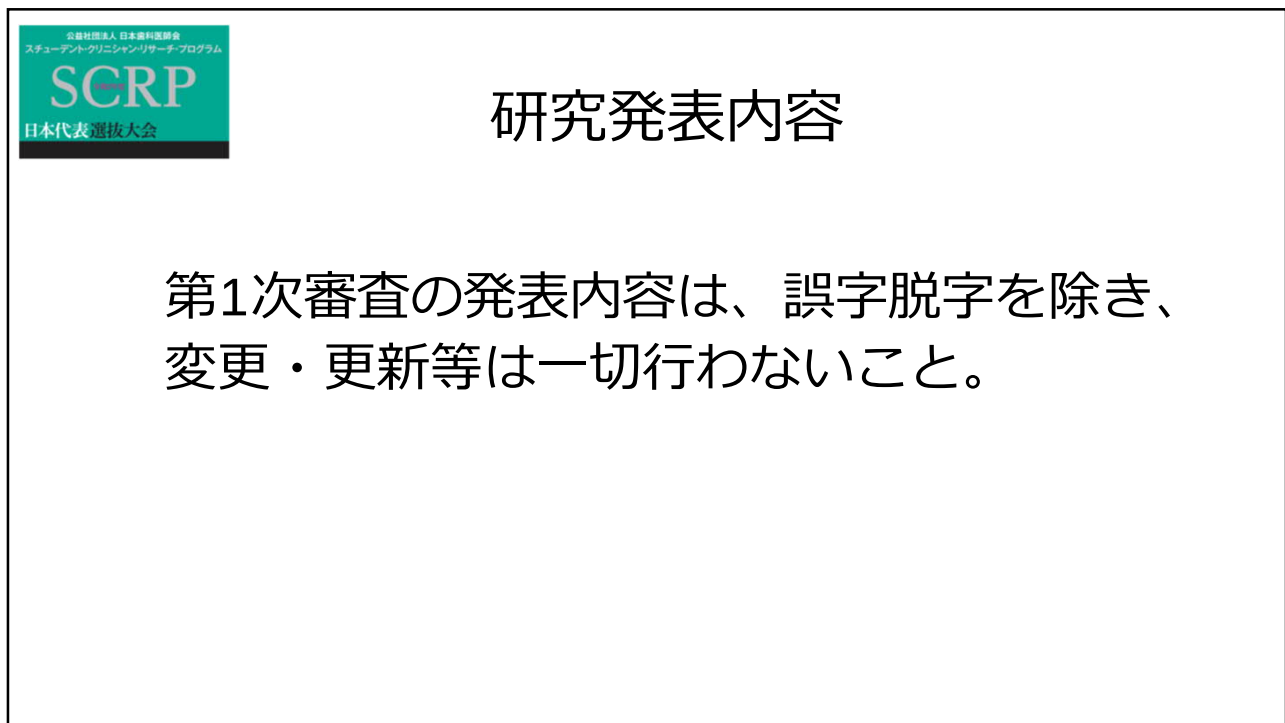


公益社団法人 日本歯科医師会
スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム

令和2年度
SCR P
日本代表選抜大会

令和2年度
SCR P日本代表
選抜大会

第2次審査
プレゼンテーションガイド



公益社団法人 日本歯科医師会
スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム

令和2年度
SCR P
日本代表選抜大会

研究発表内容

第1次審査の発表内容は、誤字脱字を除き、
変更・更新等は一切行わないこと。



SCによるビデオ発表イメージ (発表時間 5 分～ 7 分)

< SC >

I am Student Clinician, No. ____.

Please let me start my research presentation.

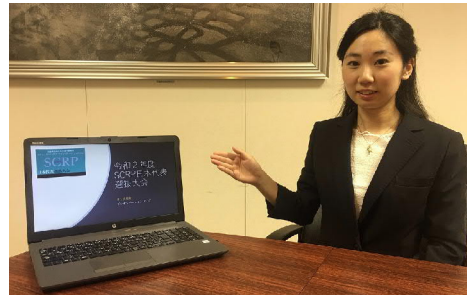
- PPT①
- PPT②
- PPT③
- PPT④
- PPT⑤
- PPT⑥

Thank you very much.

**** 共同研究者ならびにファカルティアドバイザー他
研究指導協力者は同席してもよいが、質疑応答には
一切関与しないこと。**

< 発表イメージ >

SCはスライド(フリップボード)を
順番に説明する。



*写真は発表イメージです。



質疑応答：15～20分程度

SCは研究発表後、審査員から英語もしくは日本語
による質問を受けるが、回答は英語で行なうこと。